

SOS 声かけ模擬訓練を 耶馬溪下郷地区で 11月27日(日)に開催

「SOS 声かけ模擬訓練」とは地域のつながりや強みを生かしながら、行方不明になった認知症の方を捜索し、ご本人の気持ちに寄り添った声かけの方法を学ぶための訓練です。

昨年の本耶馬溪に続き、今年は 11 月 27 日に耶馬溪下郷地区で実施しました。当日は雨が降り足元も悪かったのですが、地域住民の方はもとより、警察や消防団といった関係者を含めて 100 名以上の方が参加されました。認知症になっても安心して生活できるまちづくりを目指して、今後も地域の方々と一緒に取り組んでいきたいと思っています。



梅木実行委員長のあいさつで訓練が開始。

認知症の方への対応の心得

3つのない

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

搜索設定 「下郷花子さんが行方不明になりました」



「こんにちは、どちらにいられていますか？」。



「もしかしたら、下郷花子さんですか？」。



「下郷花子さん発見！」パトカーで迎えに行き、無事保護しました。